

国際保健医療福祉学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Matsunaga H, Orita M, Iyama K, Sato N, Aso S, Tateishi F, Taira Y, Kudo T, Yamashita S, Takamura N. Intention to return to the town of Tomioka in residents, seven years after the accident at Fukushima Daiichi Nuclear Power Station: A cross-sectional study. J Rad Res 60(1): 51-58, 2019. (IF:2.014)
2. Tsukasaki A, Taira Y, Orita M, Takamura N. Seven years post-Fukushima: Long term measurement of exposure doses in Tomioka Town. J Rad Res 60(1): 159-160, 2019. (IF:2.014)
3. Hori H, Orita M, Taira Y, Kudo T, Takamura N. Risk perceptions regarding radiation exposure among Japanese schoolteachers living around the Sendai Nuclear Power Plant after the Fukushima accident. PLoS One ie0212917, 2019. (IF:2.776)
4. Matsuo M, Taira Y, Orita M, Yamada Y, Ide J, Yamashita S, Takamura N. Evaluation of environmental contamination and estimated radiation exposure dose rates among residents immediately after returning home to Tomioka Town, Fukushima Prefecture. Int J Environ Res Public Health 16(9): E148, 2019. (IF:2.468)
5. Yamada Y, Orita M, Shinkawa T, Urata H, Kondo H, Takamura N. Nurses' interest in nuclear disaster medicine: future capacity building. J Rad Res 333-334 60(3), 2019. (IF:2.014)
6. Taira Y, Inadomi Y, Hirajou S, Fukumoto Y, Orita M, Yamada Y, Takamura N. Eight years post-Fukushima: Is forest decontamination still necessary? J Rad Res 60(5):705-707, 2019 (IF:2.014)
7. Nagatomi M, Yamaguchi T, Shinkawa T, Taira Y, Urata H, Orita M, Takamura N. Radiation education for nurses working at middle-scale hospitals in Japan. J Rad Res 60(5):708-709, 2019. (IF:2.014)

B 邦文

B-b

1. 高村 昇：福島第一原発事故におけるクライシスコミュニケーション 救急医学 43(6): 843-848, 2019

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
4	0	1	0	0	1

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
高村 昇・教授	長崎市国民保護協議会 委員	長崎市国民保護協議会
高村 昇・教授	支援センター運営委員会 委員	公益財団法人 原子力安全研究協会
高村 昇・教授	福島県放射線健康リスク管理アドバイザー	福島県
高村 昇・教授	非常勤嘱託	アルパイン株式会社
高村 昇・教授	建築審査会委員	長崎県
高村 昇・教授	(財)放射線影響研究所 臨床研究部顧問	公益財団法人 放射線影響研究所
高村 昇・教授	環境放射能研究所研究連携推進会議委員	国立大学法人福島大学
高村 昇・教授	環境放射能研究所 副所長	国立大学法人福島大学
高村 昇・教授	環境再生プラザ運営委員会委員	環境再生プラザ
高村 昇・教授	福島県「放射線と健康」アドバイザー	福島県
高村 昇・教授	臨床研究部 顧問	公益財団法人 放射線影響研究所
高村 昇・教授	風評払拭・リスク強化アドバイザー会合外部有識者委員	復興庁
高村 昇・教授	中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略検討会委員	環境省
高村 昇・教授	平成31年度中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略検討会コミュニケーション推進チーム 委員	環境省

高村 昇・教授	雲南市原子力安全顧問	島根県雲南市
高村 昇・教授	研修推進会議委員 他	公益社団法人 日本アイソトープ協会
高村 昇・教授	安定ヨウ素剤の服用等に関する検討チーム委員	原子力規制庁
折田真紀子・助教	内部被ばく技術検討会委員	公益財団法人 原子力安全研究協会
折田真紀子・助教	外部被ばく技術検討委員	公益財団法人 原子力安全研究協会
折田真紀子・助教	トレーナーズトレーニングの講師	公益社団法人 日本アイソトープ協会

○教室における社会活動について

2008年より国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館において、年に10回「被爆者健康講話」を行い、原爆被爆者の健康増進に向けた取り組みを行っている。

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
高村 昇・教授	日本学術振興会	代表	国際共同研究強化 (B) 「チェルノブイリから福島を知る～甲状腺超音波所見の自然史」
高村 昇・教授	環境省	代表	「放射線健康管理・健康不安対策事業（放射線の健康影響に係る研究調査事業）」
高村 昇・教授	環境省	代表	「富岡町を基盤とした帰還住民とのコミュニケーションに資する科学的エビデンスの創出」
高村 昇・教授	文部科学省	代表	富岡町におけるイノシシ中の放射性物質濃度評価
山田 裕美子・助教	日本学術振興会	代表	薩摩川内市に住む住民の安定ヨウ素剤に関するリスク認知とそれに影響する要因の検討
高村 昇・教授	アルパイン(株)		内部被ばく線量評価

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
高村 昇・教授	非常勤講師（大規模災害と国際協力）	広島大学
高村 昇・教授	非常勤講師（福島原発事故と災害復興）	東日本国際大学
折田真紀子・助教	災害医療	国際医療福祉大学
折田真紀子・助教	放射線災害医療サマーセミナー	笹川記念保健協力財団

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
高村 昇・教授	被災地支援 取組み紹介	福島民報	2019年 4月18日	広報誌 Choho 特別号完成について
高村 昇・教授	被ばく医療サテライト修士課程の説明会	朝日新聞	2019年5月 17日	薩摩川内にて原子力災害に対応できる人材の育成の重要性を説明した
高村 昇・教授	被ばく者健康講話	長崎新聞	2019年6月 21日	被ばく者の健康寿命の増進を目的とし、健康講話にて知って得する健康クイズを披露した。
高村 昇・教授	被ばく医療人材育成	民友新聞	2019年12	福島県内の大学と連携し災害・被ばく医

			月 31 日	療科学分野での人材育成についての取り組みを川内村など浜通りで始めた。
高村 昇・教授	原発被害者の帰還支援	読売新聞	2020年2月3日	業務支援、教育支援、復興支援の3部門で原発被災地の支援を行い、今後の抱負を話した。

○特筆すべき事項

2019年3月に長崎大学の広報誌である「CHOHO」の特別号として「長崎大学と福島復興その先へ」を出版し、福島における長崎大学の活動についての広報活動に供している。